

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	日本国憲法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	三科 俊	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	弁護士として法律事務所に在籍・勤務						
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 憲法の基本観念と人権の概念について概念を説明することができる 2. 日本国憲法の基本原理と人権保障・統治構造の概念を説明することができる 3. 日本国憲法上の重要条文について通説・判例の見解を説明することができる 						
授業概要	日本国憲法の特徴と全体像が理解できるような授業を行う。 日本国憲法の基本原理と具体的な条文とを架橋する体系的な説明を行うことによって日本国憲法の基本的事項・重要事項の理解をはかる。						
テキスト	「憲法」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	憲法と立憲主義					
	第2回	日本憲法史、日本国憲法の構成と基本原理					
	第3回	象徴天皇、平和主義の原理					
	第4回	人権宣言の歴史、人権の観念と類型					
	第5回	人権の享有主体、人権保障の限界					
	第6回	私人間における人権の保障と限界、包括的基本権①					
	第7回	包括的基本権②、法の下での平等					
	第8回	精神的自由権①					
	第9回	精神的自由権②					
	第10回	人身の自由、経済的自由					
	第11回	社会権①					
	第12回	社会権②					
	第13回	国務請求権、参政権、国民の義務					
	第14回	統治機構					
	第15回	財政、地方自治、憲法の保障					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	英会話	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	堀切修宏	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	小学校での外国語活動の教育、中学、高等専門学校でのCLILを用いた教育実践、学習塾の運営						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本科目では英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身につけることを目標とする。						
授業概要	英文法の基礎を学習し、英文読解のルールを用いて英文を読んでいく。また保育の現場での様々な生活場面を題材にした英文や英語表現の学習を通して、保育者と子どもや保護者とのコミュニケーションに使われる英語表現や連絡事項の書き方などを学習する。						
テキスト	「英語コミュニケーション」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	英語の文法(動詞、形容詞・副詞)					
	第2回	英語の文法(比較、代名詞、疑問詞)					
	第3回	英語の文法(進行形、完了形、受動態)					
	第4回	英語の基礎構文(5文型)と英文読解のルール					
	第5回	英語の基礎構文(修飾句)					
	第6回	英語の基礎構文(接続詞、仮定法)					
	第7回	入園準備の際に用いる英語表現					
	第8回	登園・降園の際に用いる英語表現					
	第9回	室内遊びの際に用いる英語表現					
	第10回	外遊びの際に用いる英語表現					
	第11回	健康・病気・けがの際に用いる英語表現					
	第12回	運動・お散歩の際に用いる英語表現					
	第13回	食事の際に用いる英語表現					
	第14回	工作・お絵かきの際に用いる英語表現					
	第15回	おたより・行事の際に用いる英語表現					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	こども家庭福祉	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	子どもへの援助や保護者支援などの現場経験から、保育者に求められるこども家庭福祉の法制度などの知識について教授する。						
授業のねらい (到達目標)	現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解するとともに、制度や関係機関の実施体制について学びを深めていく。あわせて、子どもの人権に目を向けながらこども家庭福祉の現状と課題についての考察を深めることで、今後の展望について見極める機会とす						
授業概要	望ましい保育者となるために、こども家庭福祉の領域に関する基本的な知識・技術・人間性として身につけなければならないこと等について学ぶ。						
テキスト	「こども家庭福祉」 豊岡短期大学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	こども家庭福祉の理念と概念					
	第3回	貧困家庭・ひとり親家庭への対応					
	第4回	外国籍家庭・ヤングケアラー・ダブルケアラーへの対応					
	第5回	こども虐待とその防止					
	第6回	多様な保育ニーズへの対応					
	第7回	制度と法体系					
	第8回	児童福祉施設や関係機関					
	第9回	こども家庭福祉施設の専門職・実施者					
	第10回	少年非行の現状と対応					
	第11回	ドメスティックバイオレンスとその防止					
	第12回	子どもの権利と人権擁護					
	第13回	児童の権利に関する条約の内容					
	第14回	母子保健と子どもの健全育成					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期	
科目名	こどもの指導法「造形表現」	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師					
授業のねらい (到達目標)	1. 保育指導法「表現」のねらいと内容等に基づいた保育の基本について理解できる。 2. 乳幼児の表現活動の大切さと発達段階を踏まえた造形的な表現の特徴が理解できる。 3. 乳幼児の造形表現活動の展開と援助のあり方を学び、保育者としての知識と技術が習得できる。					
授業概要	乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現の特徴を理解する学習をする。さらに材料・用具、手法をもとに「えがく」「つくる」「造形あそび」などの題材や環境構成、援助のあり方についての知識と製作体験とを関連づけながら学習を深める。					
テキスト	造形表現論(豊岡短期大学)					
授業計画	第1回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園 教育・保育要領における「表現」領域及び小学校との連携(「図画工作」の学習指導要領)				
	第2回	造形教育の思想と指導法の推移及びこどもの発達段階における表現の特徴				
	第3回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価				
	第4回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価				
	第5回	教材研究を伴う製作I(えがく)				
	第6回	教材研究を伴う製作I(えがく)				
	第7回	教材研究を伴う製作I(つくる)				
	第8回	教材研究を伴う製作I(つくる)				
	第9回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)				
	第10回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)				
	第11回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)				
	第12回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)				
	第13回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)				
	第14回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ				
	第15回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	教育実習	授業形態	実習	単位数	4単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>1. 実習生の姿勢・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> マナーを守り、意欲的に取り組む 礼儀正しく、謙虚な姿勢で学ぶ 自分から進んで質問をし、実践的な学びを深める 実習園の特色や保育方針を理解し、課題を明確にして実習に臨む 「今日の課題」を考察し、「明日の課題」を明確にしながら学びを積み上げようとする 「個」と「集団」に積極的に関わり、観察し学びを深める <p>2. 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児の「前に立つ」ための準備をして実習に臨む 3歳児から5歳児の発達を理解し実習に臨む 保育におけるPDCAサイクルを理解する ピアノや絵本の読み聞かせなど、保育技術を磨いて実習に臨み、実践の場においてさらなる向上を目指す 幼児の言動から心情を感じとりながら、関わることができる <p>3. 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> 各年齢の発達の特徴や保育の流れやつながりを理解して時系列に記録ができる 幼児に対する保育者の働きかけを具体的に記録できる 幼児の姿を観察し、場面の記録を書くことができる 「気づき」を書く事ができる 保育者の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる 「個」と「集団」の姿を記録できる 幼児との関わりを詳細に記録し、省察することができる <p>4. 指導案</p> <ul style="list-style-type: none"> ※教育実習Ⅰでは、記録に重点を置き、指導案は教育実習Ⅱの課題とする 子どもの姿を予測し、配慮事項や留意点を挙げる事ができる 導入、展開、まとめを一連の流れとして立案できる <p>5. 手続きと提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> 期日を守り、自主的に進められる 期日を確認し、計画的に進められる 				
授業概要	<p>実際に幼稚園の生活を体験する中で、園生活の流れと幼児の生活、発達の姿、幼稚園教諭の職務を理解できるように指導する。</p> <p>教育実習Ⅰでの経験を基礎として、観察や指導案に基づいた実践を行う。幼稚園の教育理念や教育課程を把握し、「個」と「集団」の理解、幼稚園教諭の職務に対する理解等がさらに深まるよう指導する。また、指導案を作成し実践的な体験を通して学べるよう指導する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の等の基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	子ども家庭支援論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	子どもへの援助や保護者支援などの現場経験から、保育者に求められる子ども家庭支援の法制度などの知識について教授する。						
授業のねらい (到達目標)	1.子育て家庭を取り巻く社会的状況を理解する。 2.保育の専門性を活かした子ども家庭支援の現状と課題を理解する。 3.子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開を理解する。						
授業概要	子育て家庭を取り巻く様々な社会的状況について把握し、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の現状と課題について理解を深める。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開を理解する。特別なニーズをもつ子育て家庭への支援方策として関係機関の連携等、各ニーズの特性を捉えながら学習を進める。						
テキスト	「こども家庭支援論」(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	家庭支援の対象					
	第3回	家庭支援の意義					
	第4回	家庭支援の必要性					
	第5回	家庭支援の目的					
	第6回	保育所等を利用する家庭への支援					
	第7回	地域の子育て家庭への支援					
	第8回	子どもの発達をふまえた支援					
	第9回	子育て家庭を支援する専門職・機関					
	第10回	次世代育成支援に関する制度					
	第11回	子育て家庭に対する経済的支援					
	第12回	多様な子育て支援サービス					
	第13回	特別なニーズを持つ子育て家庭支援					
	第14回	世界の子育て支援					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	子どもの食と栄養	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	萱場 佳代	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	企業での調乳・離乳食指導、特定保健指導、母親教室、料理教室講師 新潟市 母子保健事業、特定保健指導、学校等での出張授業講師 他						
授業のねらい (到達目標)	子どもの身体の特徴を理解し、小児期に必要な栄養・食生活の重要性と、それぞれの時期に応じた食事の知識を習得し、食育につなげていけるものとする。						
授業概要	基本的な栄養・食生活の知識を学ぶ。 離乳食から幼児期への子どもの発育発達と、それぞれの時期に応じた栄養補給、食事の知識を学ぶ。 食育の重要性を学び、子どもたちへの伝えかたを考える。 実際に調整粉乳、離乳食、幼児食の調理を行い、形態や味を確認する。 乳幼児期における食物アレルギーについて学ぶ。						
テキスト	「こどもの食と栄養」豊岡短期大学						
授業計画	第1回	栄養に関する基礎知識(五大栄養素の体内での働き)					
	第2回	ビタミン・ミネラルの種類・働き・食品					
	第3回	母乳栄養(初乳・長所・短所・母乳不足)					
	第4回	人工栄養(調整粉乳・フォローアップミルク・特殊ミルク)					
	第5回	離乳の定義、離乳食の進め方と注意点					
	第6回	幼児期の栄養・食生活					
	第7回	間食の必要性と与え方					
	第8回	幼児期の栄養・食生活上の問題と対応					
	第9回	乳幼児期の食物アレルギー					
	第10回	食育の必要性(ねらいと内容)					
	第11回	食育の実践					
	第12回	実習(調乳・離乳食の調理)					
	第13回	実習(幼児食の調理)					
	第14回	実習(間食の調理)					
	第15回	まとめ 期末試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	環境	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 保育者の役割を常に考え、保育実践力を身につける。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義					
	第2回	環境とは何か？ 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第3回	領域「環境」の理解 ねらいと内容					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育					
	第5回	環境の構成 教師の願いを込める					
	第6回	環境の構成 身近な環境の構成					
	第7回	環境の構成 季節や地域の行事					
	第8回	環境の構成 好奇心・探究心を育てる環境					
	第9回	園での実際の環境構成(映像学習)①					
	第10回	園での実際の環境構成(映像学習)②					
	第11回	園での実際の環境構成(映像学習)③					
	第12回	保育者の存在 人的環境の重要性					
	第13回	標識・文字、数量・図形との出会い					
	第14回	ねらいを達成するための環境構成の工夫(校外学習計画)					
	第15回	校外学習					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	言語表現	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	金子 直也	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	新潟市の公立保育士として7年間勤務。子どもの主体性を育む関わり、実践的な保育技術、子ども一人一人の発達を捉えた計画作成、子どもの姿に合わせた専門知識の修得、修得した知識を基にした環境の見直しや保育の実践を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの過程を理解するとともに、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した模擬保育の実施とその振り返りを通して、基本的知識と保育実践力を身に付ける。 						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な児童文化財に触れ、その活用方法や留意点について理解し実践する。 ・自身の保育観や教育的価値に沿った絵本選びを行い、選定した絵本の読み聞かせを通して、実践的な技術を習得する。 ・自己紹介絵本制作を通して、児童文化財への理解を深めると共に、表現力や制作技術の向上を図る。 						
テキスト	ことばと表現力を育む児童文化〈第2版〉 萌文書林						
授業計画	第1回	授業の目的と概要 領域「言葉」のねらい及び内容の確認					
	第2回	子どもの言葉を育む様々な児童文化財 様々な絵本の種類、子どもの発達に合わせた絵本の選び方					
	第3回	図書室での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第4回	図書室での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第5回	図書室での教材研究 領域「言葉」を中心とした絵本の読み聞かせの指導案作成					
	第6回	絵本の読み聞かせ時の留意点 絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り					
	第7回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第8回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第9回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 様々な言葉遊びとその留意点					
	第10回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第11回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第12回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 様々な遊び歌やわらべ歌とその留意点					
	第13回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第14回	絵本の読み聞かせを中心とした模擬保育と振り返り 自己紹介絵本の作成					
	第15回	まとめ 児童文化財を生かした様々な保育実践・保育の展開					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	乳児保育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園、保育園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解する。						
授業概要	1. グループワークを通し、3歳未満児の発達やそれに沿った保育者の関わりを知る 2. DVDの事例から、子どもの言動や保育者の関わり意図を個人、グループ、クラス全体で考察する。 3. 養護が教育の一部であること、すべての経験が学びとなっていることを理論的に考察する。						
テキスト	「乳幼児保育」、保育所保育指針						
授業計画	第1回	乳児保育の基本 乳児の特徴					
	第2回	養護と教育の一体化					
	第3回	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿と乳児保育					
	第4回	乳児の発達① グループワーク					
	第5回	乳児の発達② グループワーク					
	第6回	乳児の発達③ グループワーク					
	第7回	乳児の発達④ グループワーク発表					
	第8回	単位認定試験					
	第9回	模擬保育指導案 立案①					
	第10回	模擬保育指導案 立案②					
	第11回	模擬保育指導案 グループ討議					
	第12回	模擬保育準備①					
	第13回	模擬保育準備②					
	第14回	模擬保育					
	第15回	模擬保育					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期
科目名	障害児保育	授業形態	演習	単位数	2単位
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	児童福祉施設での障害児支援の経験をもとに、障害の概念や特性、個人支援方法をふまえて教科指導を行う。				
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 2. 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 3. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。 4. 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。 				
授業概要	障害児保育の歴史と障害の特性について学ぶ。個々の障害特性を理解し、インクルーシブ保育を実践する視点から保育者として必要な力を身に付ける。				
テキスト	「障害児保育」(豊岡短期大学)				
授業計画	第1回	オリエンテーション			
	第2回	障害の概念			
	第3回	障害児保育の方法			
	第4回	障害児保育のあゆみ			
	第5回	肢体不自由児への支援			
	第6回	視覚障害児への支援			
	第7回	聴覚障害児への支援			
	第8回	知的障害児への支援			
	第9回	重症心身障害児・病弱・身体虚弱児への支援			
	第10回	発達障害児への支援①			
	第11回	発達障害児への支援②			
	第12回	障害のある子どもの地域社会への参加、合理的配慮①			
	第13回	障害のある子どもの地域社会への参加、合理的配慮②			
	第14回	障害のある子どもの家族の理解と支援			
	第15回	まとめ			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	社会的養護Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	「社会的養護Ⅰ」で学んだ社会的養護の基礎的内容について具体的に理解する。 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 社会的養護における虐待防止と家庭支援について理解する。						
授業概要	スクーリングによる体験的な授業で、主としてコミュニケーション力、リーダーシップなど必要な技術とネットワーク運営のための技術を身につける。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	社会的養護の定義と理念					
	第3回	求められる資質や倫理					
	第4回	社会的養護の体系、施設養護の体系					
	第5回	乳児院(演習)					
	第6回	母子生活支援施設(演習)					
	第7回	障害児入所施設(演習)					
	第8回	児童養護施設(演習)					
	第9回	児童自立支援施設(演習)					
	第10回	児童心理治療施設(演習)					
	第11回	家庭養護・家庭的養護の体系					
	第12回	里親(演習)					
	第13回	地域小規模児童養護施設(演習)					
	第14回	社会的養護の現状と課題					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での現場経験から、施設で生活する子どもたちの実際の姿や支援内容について実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談・助言・情報提供等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解し身につける。 子育て支援の意義や役割について理解し、保育者としての子育て支援の基本姿勢について関心を持ち、子育て支援の意義や役割、基本姿勢など支援の実際を学ぶ。						
授業概要	保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解するとともに、保育士の行う子育て支援の展開を学ぶ。						
テキスト							
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	保育の専門性と子育て支援					
	第3回	保護者に対する子育て支援					
	第4回	ソーシャルワーク理論					
	第5回	保育士の行う子育て支援(方法)					
	第6回	保育士の行う子育て支援(技術)					
	第7回	共感的理解、傾聴(演習)					
	第8回	非言語コミュニケーション(演習)					
	第9回	リフレーミング(演習)					
	第10回	自己覚知(演習)					
	第11回	価値観(演習)					
	第12回	記録(演習)					
	第13回	社会資源(演習)					
	第14回	事例分析①					
	第15回	事例分析②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習 I (施設)	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生の姿勢・態度 <ul style="list-style-type: none"> ・人権を理解し尊重する態度を身につける。 ・施設実習を通して自己の成長を目指す。 ・観察することの意味を理解して実践する。 2. 知識及び技能 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を築くための技能を身につける。 ・施設の役割と社会的な位置づけを知る。 ・施設の現状(生活・職員の役割)を理解する。 3. 実習日誌 <ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌の意義・記入上の諸注意について理解する。 ・記録の取り方・記入の仕方を学ぶ。 4. 指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・部分実習の具体例を学ぶ。 5. 手続きと提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・期日を守り、自主的に進められる。 				
授業概要	施設での生活や療育を実際に体験する中で、施設の機能や施設での生活と流れを知り、子ども・利用者を理解し、援助の仕方や方法、施設保育士の職務等について理解できるよう指導する。				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習 I (保育)	授業形態	実習	単位数	4 単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。 ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことができる ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習準備の充実) ・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことができる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。(部分、責任) ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約束期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<p>実際に保育所の生活を体験する中で、保育所の機能、保育所での乳幼児の生活とそ の 流れ、保育士の職務と役割、「養護」と「教育」を一体として行う保育所保育の基本等につ いて理解できるように指導する。</p>				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づ 及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期		
科目名	保育実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。						
授業概要	現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。 問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。						
テキスト	「保育・教職実践演習」(豊岡短期大学)						
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か					
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点					
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待					
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育					
	第5回	日本における保育実践上の課題について④ 統合保育					
	第6回	日本における保育実践上の課題について⑤ 異年齢保育					
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について					
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について					
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について					
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について					
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①					
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②					
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③					
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成、材料、保育者の関わりについて					
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	幼児体育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	山田 すみ江	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	保育士、幼稚園教諭、母親学級講師、スポーツインストラクター経験を生かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程と運動遊びの関係を理解する。 ・運動遊びの種類及び、さまざまな局面で遊びが子どもの成長・発達(社会性・感情を含む)に与える影響を理解し、具体的な援助方法を取得する。 ・子どもが安全に楽しく運動遊びに取り組むための環境づくりについて理解する。 						
授業概要	グループ毎に、発達過程に応じた運動遊びを考え発表することで、運動遊びと発達の関係の理解を深める。また、子どもたちが主体的に楽しく、安全に遊びを展開したり、深めたりする援助方法を学ぶ。						
テキスト	保育所保育指針解説・幼稚園教育要領解説・認定こども園教育・保育要領解説						
授業計画	第1回	自然を取り入れた遊び(水遊び・雪遊び)や戸外や森での遊びについて(講義)					
	第2回	固定遊具を使った遊び1(すべり台・ジャングルジム・上り棒等)					
	第3回	固定遊具を使った遊び2(鉄棒・ブランコ等)					
	第4回	ボールを使った遊び1(小さいボール・やわらかいボール・大量のボール等)					
	第5回	ボールを使った遊び2(大きいボール・さまざまなボール等)					
	第6回	身近な遊具を使った遊び1(縄、フープ、輪等)					
	第7回	身近な遊具を使った遊び2(新聞紙、タオル、ハンカチ等)					
	第8回	大型遊具を使った遊び1(跳び箱、マット、平均台等)					
	第9回	大型遊具を使った遊び2(複数の遊具の組み合わせによる運動、ゲームボックス、巧技台等)					
	第10回	サーキット遊び(遊具を組み合わせたサーキット遊び)					
	第11回	じゃんけん遊び(遊具を使用しないじゃんけん遊び・遊具を使用したじゃんけん遊び)					
	第12回	鬼ごっこ(氷鬼、助鬼、色鬼、手つなぎ鬼、かげふみ鬼、ドロケイ等)					
	第13回	身体表現によるわらべ歌遊び(かごめかごめ、はないちもんめ、とうりゃんせ、あぶくたつた等)					
	第14回	身体表現による伝承遊び1(ケンケンパー、馬跳び、缶けり等)					
	第15回	身体表現による伝承遊び2(独楽まわし、お手玉、けん玉、おはじき等)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
			50%	25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)	
科目名	音楽表現Ⅳ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	石川美穂・寺内めぐみ・市嶋融介・林麻里子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	音楽表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。					
テキスト	「こどもと音楽表現」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)	
科目名	音楽表現Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	石川美穂・寺内めぐみ・市嶋融介・林麻里子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者の学生からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	音楽表現Ⅰ、Ⅱで身に付けた演奏技術を更に向上させつつ、保育実習や幼稚園での教育実習に向けて実践的な取り組みを行う。					
テキスト	「こどもと音楽表現」「ブルクミュラー25の練習曲」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。 ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことができる ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習及び責任実習準備の充実) ・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことができる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。(部分、責任) ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約束期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとのかかわりを深めながら観察し、保育理念や保育の課程をおさえ、保育士の職務を理解できるようにする ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅲ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園等該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の方針を理解の上、保育者とこども・利用者とのかかわり方を学び、適切に行動する ・保育実習の経験を活かし主体的に動く。 ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を気づくための技術を身につける ・施設の役割と社会的な位置づけを知る ・施設の現状(生活や職員の役割)を理解する ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや利用者とのかかわりから保育士の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる ・「個」と「集団」それぞれの姿を記録できる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。 ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約束期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設における実習を通して施設におけるこども・利用者の生活をりかいするとともに、様々な職種の連携について知り、保育者士として必要な支援技術の向上を目指し、指導する。 ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)	
科目名	保育実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。 					
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める ・状況に合わせて園・施設の見学を行い実践的保育の体験から実習に繋げる 					
テキスト	実習のしおり・保育者養成実習ガイド・発達と保育(乳児・幼児)・配布プリント					
授業計画	第1回	施設実習の振り返りから保育実習ⅡⅢにむけてめあてを作成				
	第2回	オリテの指導・実習ファイル作成・保育実習ⅡⅢの意義や目的の確認				
	第3回	前日の考察や反省が翌日の実習のねらいに繋がっていることを確認する。(ねらいの立て方の指導)				
	第4回	実習記録や指導案について確認する。(環境構成のとらえ方を主に)				
	第5回	実習記録や指導案について確認する。考察について確認する				
	第6回	実習記録や指導案について確認する。考察について確認する				
	第7回	選択実習準備の振り返りと共有				
	第8回	連絡帳記入について				
	第9回	連絡帳記入について				
	第10回	諸帳簿の記入について(ヒヤリハット報告書)				
	第11回	模擬保育の実施				
	第12回	模擬保育の実施				
	第13回	諸帳簿の記入について(月週日案)				
	第14回	諸帳簿の記入について(月週日案)				
	第15回	諸帳簿の記入について(月週日案)				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)
科目名	保育実習指導ⅡⅢ	授業形態	演習	単位数	1単位
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・認定こども園での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての基本的な心構えを理解したり、施設について理解する。 ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して自分なりに立てる。 ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。 ・見通しをもち場面に対応して動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める ・状況に合わせて園・施設の見学を行い実践的保育の体験から実習に繋げる 				
テキスト	実習のしおり・保育者養成実習ガイド・発達と保育(乳児・幼児)・配布プリント				
授業計画	第1回	これまでの実習の振り返り・実習意義や目的の理解・めあての作成			
	第2回	めあての作成・オリテの内容確認・ファイルの作成			
	第3回	日々のねらいの立て方・考察や反省を生かしての日誌の書き方を確認する			
	第4回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第5回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第6回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第7回	責任実習案の構想及び作成・日誌の書き方を確認			
	第8回	教育実習の振り返り・成果の共有			
	第9回	施設実習の意義や目的の確認・めあての作成			
	第10回	オリテの指導・実習ファイル作成			
	第11回	日誌の書き方を確認・部分実習指導案の構想・素案作成			
	第12回	日誌の書き方を確認・部分実習指導案の構想・素案作成			
	第13回	部分実習指導案の構想・素案作成			
	第14回	部分実習指導案の構想・素案作成			
	第15回	施設実習準備⑥個々に必要な準備を行う			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(前期)	
科目名	情報ネットワーク	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。					
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。					
授業概要	Excel2019を用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。					
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集					
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、ネットワーク接続、プリンタ設定 Excelの基本操作				
	第2回	表の作成				
	第3回	四則演算と関数1				
	第4回	四則演算と関数2				
	第5回	表の編集1				
	第6回	表の編集2				
	第7回	ワークシートやブックの管理1				
	第8回	ワークシートやブックの管理2				
	第9回	ワークシートやブックの管理3				
	第10回	セルやセル範囲のデータ管理1				
	第11回	セルやセル範囲のデータ管理2				
	第12回	セルやセル範囲のデータ管理3				
	第13回	数式や関数を使用した演算の実行1				
	第14回	数式や関数を使用した演算の実行2				
	第15回	数式や関数を使用した演算の実行3				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	通年(後期)		
科目名	情報ネットワーク	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う						
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に、Excelの知識と技術が必要となる。本教科では、Excelを基礎から学習し活用できる能力を身につける。						
授業概要	Excel2019用いて表の作成、データベース機能、種々の関数を用いた計算、各種グラフの作成など、基礎知識と活用方法を習得し、技術向上を図る。 MOS Excel2019 検定合格を目指す。						
テキスト	Excel2019セミナーテキスト基礎・Excel2019対策テキスト&問題集						
授業計画	第1回	テーブルとテーブルのデータの管理1					
	第2回	テーブルとテーブルのデータの管理2					
	第3回	テーブルとテーブルのデータの管理3					
	第4回	グラフの管理1					
	第5回	グラフの管理2					
	第6回	模擬1(演習)					
	第7回	模擬1(テスト)					
	第8回	模擬2(演習)					
	第9回	模擬2(テスト)					
	第10回	模擬3(演習)					
	第11回	模擬3(テスト)					
	第12回	模擬4(演習)					
	第13回	模擬4(テスト)					
	第14回	模擬5(演習)					
	第15回	模擬5(テスト)					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期	
科目名	教育実習事後指導	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	熊倉 美和	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園認定こども園での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学修した知識、技術と一般的な教養を基礎として、実際の教育現場で実習する。 ・経験豊かな指導教員の下で、幼児と触れ合い実習する。 ・幼稚園教諭となる為の基本的な能力と態度(個別指導、クラス指導、幼稚園行事等)を養う。 					
授業概要	①幼稚園教育実習の反省や評価を基に、これまで修得した専門知識を振り返る。②幼児の生活や発達 の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して深め ていく。③保育者に求められる専門的な知識が定着できるように学びを深める。④幼稚園教育をめぐる 諸問題及び解決の為の取り組み等について知見を広げる為、事例問題についてグループで話し合い、 専門性の向上を図る。					
テキスト	「幼稚園教育実習事前・事後指導」豊岡短期大学、「保育者の常識67」、「幼稚園教育要領解 説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」					
授業計画	第1回	指導案の作成および観察実習(以上児)				
	第2回	指導案の作成および観察実習(以上児)				
	第3回	指導案の作成および観察実習(以上児)				
	第4回	指導案の作成および観察実習(以上児)				
	第5回	指導案の作成および観察実習(以上児)				
	第6回	実習成果の共有・振り返り				
	第7回	実習成果の共有・振り返り				
	第8回	実習成果の共有・振り返り				
	第9回					
	第10回					
	第11回					
	第12回					
	第13回					
	第14回					
	第15回					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	前期		
科目名	環境論	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 「環境を通して行う教育」を理解し、意図ある環境構成の実践を行う。						
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解し、校外学習を通して環境構成の実践を行う。						
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境						
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義 子どもを取り巻く環境の変化を知る					
	第2回	身近な環境について考える①少子化					
	第3回	身近な環境について考える②メディア					
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育 教師の願いを込める					
	第5回	環境の構成 校外学習計画①					
	第6回	校外学習①地域探検					
	第7回	環境の構成 校外学習計画②					
	第8回	環境の構成 校外学習計画②					
	第9回	環境の構成 校外学習計画②					
	第10回	校外学習②					
	第11回	校外学習②					
	第12回	校外学習②					
	第13回	校外学習②					
	第14回	まとめ・振り返り①					
	第15回	まとめ・振り返り②					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども学科	実施学年	2学年	開講期	後期								
科目名	特別支援教育	授業形態	講義	単位数	1単位								
担当教員	曾根原 和明	実務経験の有無	○										
実務経験教員の経歴	<p>小学校教員として12年間勤務し、学級担任として通常の学級に在籍する多様な児童に対し、発達や学習、行動面での支援に取り組んできた。校内の特別支援教育コーディネーターや支援員、保護者、専門機関と連携しながら、個別の教育的ニーズに応じた支援を計画・実践してきた経験を有する。こうした実務経験を踏まえ、本授業では、特別支援教育の理念や法制度を理解した上で、現場における具体的支援の在り方について、実践的に伝える。</p>												
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援教育の理念・法制度(学校教育法施行令、障害者差別解消法など)を理解し、その意義を自ら説明できる。 2 発達障害、軽度知的障害、視覚・聴覚障害、肢体不自由、病弱等の多様な障害特性と教育的ニーズを科学的根拠に基づいて分析できる。 3 個別の教育支援計画(IEP/個別の指導計画)を立案・評価し、授業や学校生活に具体的に適用する力を身に付ける。 4 教育チーム(クラス担任、特別支援教育コーディネーター、医療・福祉専門職等)と連携し、組織的・継続的な支援体制を構築できる。 5 保護者や地域支援機関と協働し、家庭・地域ぐるみで子どもを支援する実践的コミュニケーションスキルを修得する。 6 現代的課題(インクルーシブ教育、合理的配慮、ICT活用など)を踏まえ、子どもの自己決定と学びの質を高める方策を提案できる。 												
授業概要	<p>本講義は、全8回で特別支援教育の基礎から実践までを体系的に学ぶ。第1回では特別支援教育の定義と歴史的背景を概観し、第2・3回で発達障害や各種障害の特性を理解する。第4回では子どものアセスメント結果に基づく支援計画の作成方法を扱い、第5回は学級・学校・地域が一体となった教育チームによる組織的支援のデザインを検討する。第6回では特別支援教育コーディネーターの役割と校内コンサルテーションの実際を扱い、第7回で保護者支援と家庭・地域連携の具体的手法を学ぶ。最終回は現代の子どもたちが抱える特別な教育的ニーズを多角的に考察し、合理的配慮やインクルーシブ教育の今後の展望を討議する。</p>												
テキスト	「特別支援教育」(豊岡短期大学)												
授業計画	第1回	特別支援教育とは											
	第2回	発達障害や軽度知的障害をも子どもの特性											
	第3回	視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある子どもの特性											
	第4回	子どものニーズに合わせた支援											
	第5回	教育チームによる組織的支援											
	第6回	特別支援教育コーディネーター											
	第7回	保護者・家庭支援と連携											
	第8回	今、子ども達の特別な教育的ニーズを考える											
	第9回												
	第10回												
	第11回												
	第12回												
	第13回												
	第14回												
	第15回												
単位認定 ・ 評価方法	<p>期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席</p> <p>平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>	総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%		
期末	中間	平常	出欠										
50%	25%	10%	15%										